

工作機械工業 収益状況集計

(2024年度 第3四半期)

会員企業のうち2025年2月中旬迄に2024年度第3四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業13社を集計。集計調査対象企業における専業比率は84.5%。なお、今期は前年度末と同社の13社で集計した

1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要 (13社)

(単位：百万円・%)

	24年度	24年度	24年度	24年度	前年同期比	23年度
	I期	II期	III期	I～III期		I～III期
売上高	171,768	196,783	201,773	570,324	△4.6	597,679
売上総利益	51,589	60,855	63,982	176,426	△5.0	185,659
売上総利益率	30.0	30.9	31.7	30.9		31.1
営業利益	6,393	12,764	16,936	36,093	△27.2	49,574
営業利益率	3.7	6.5	8.4	6.3		8.3
経常利益	9,102	11,830	18,869	39,801	△26.6	54,200
経常利益率	5.3	6.0	9.4	7.0		9.1
当期利益	6,062	6,595	12,301	24,958	△34.7	38,228
当期利益率	3.5	3.4	6.1	4.4		6.4
総資産	1,212,993	1,205,276	1,200,370	1,200,370	+3.2	1,163,009
純資産	808,979	793,753	798,201	798,201	+4.8	761,925
自己資本比率	66.7	65.9	66.5	66.5		65.5
自己資本 当期純利益率 (ROE)	3.0	3.3	6.2	4.2		6.7

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I～III期計・前年同期比) (13社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	6	7	13
売上総利益	7 (0)	6 (0)	13 (0)
営業利益	5 (1)	8 (1)	13 (2)
経常利益	5 (1)	8 (1)	13 (2)
当期利益	3 (0)	10 (2)	13 (2)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2023年度通期見通しの概要

表3 【第3四半期時点】連結業績予想の概要（13社）

（単位：百万円・％）

	2024年度通期見通し			2023年度実績
	第2四半期時点	第3四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	792,019	785,919	△3.8	816,841
営業利益	54,688	52,178	△20.2	65,421
営業利益率	6.9	6.6		8.0
経常利益	56,867	54,397	△23.6	71,246
経常利益率	7.2	6.9		8.7
当期利益	39,909	37,299	△24.1	49,146
当期利益率	5.0	4.7		6.0

表4 【第3四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（13社）

通期 (対前年度比)	増収増益	4社 (増減なし)	増収減益	0社 (増減なし)
		減収増益	1社 (増減なし)	減収減益

※（ ）内は、第2四半期時点からの増減社数

◎第2四半期時点からの修正理由

【売上高は修正なし、経常利益は上方修正 …1社】

○売上高は、防衛装備品の増加や円安進行による海外向けスポーツライフルの売上増加などにより火器事業が増収となる一方、特装車両事業における路面清掃車の販売台数が当初予測より減少することや、工作機械関連事業における工作機械の売上減少など減収要因もあることが予想されることから、全体では前回予想と同じ。営業利益は、工作機械関連事業の不透明な状況が続くと想定されるものの火器事業の増収による増益が想定されることから、上方修正。営業利益の増収に加え、受取配当金の増加などもあり、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益も上方修正。

【売上高は修正なし、経常利益は下方修正 …2社】

○直近の業績動向に鑑み、原材料代・部品代・外注加工費・人件費等の想定以上の値上がりによる原価の上昇を生産性向上で吸収できず、収益を下押。また、本日同時に発表させていただいたMBOの実施に伴う諸費用の支出もあることから、2025年3月期の業績予想につき、下方修正。
○当期において、本公開買付に関する費用を計上することが明らかとなったことと、販売価格改定効果が徐々に発揮されてきたが、人材等への先行投資によるコスト増をまだ十分に吸収しきれなかったことにより、2024年2月5日に公表した2024年度業績予想から、営業利益及び経常利益並びに当期純利益の予想値を下方修正。

【売上高、経常利益とも下方修正 …2社】

○売上高については、工作機械関連事業における北米およびアセアン地域の売上が想定より落ち込む見通しとなったことや、部品加工関連事業における客先の生産計画見直しの影響により下方修正。利益については、両事業の売上高が想定を下回ったことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも下方修正。
○通期の業績予想については、全体に為替の円安の影響を受けるなか、特機事業においては、主力の米国市場の市況が好転し回復基調で推移することが見込まれるものの、工作機械事業においては、中国市場の回復の勢いが鈍化することやその他地域の回復が想定より遅れることが見込まれ、第3四半期連結累計期間の実績や最近の業績動向等、現時点で入手可能な情報および予測に基づき通期の業績を見直した結果、売上、利益ともに下方修正。

3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (13社)

(単位:百万円・%)

	24年度		23年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	481,911	△4.0	501,824
営業利益	34,059	△25.0	45,441
営業利益率	7.1		9.1
専業比率	84.5		84.0

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (23社)

(単位:百万円・%)

	24年度		23年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	633,373	△8.5	673,545
営業利益	41,641	△33.8	60,553
営業利益率	6.6		9.1
専業比率	28.7		31.5

※表5の対象企業13社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率30%以下の会員企業9社を加えた22社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社
 浜井産業株式会社
 豊和工業株式会社
 小池酸素工業株式会社
 株式会社牧野フライス製作所
 株式会社岡本工作機械製作所
 オークマ株式会社
 西部電機株式会社
 株式会社ソディック
 スター精密株式会社
 株式会社太陽工機
 高松機械工業株式会社
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)
 株式会社FUJI
 株式会社不二越
 黒田精工株式会社
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)
 株式会社三井ハイテック
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)
 株式会社桜井製作所
 芝浦機械株式会社